

令和6年度 ひと・まち交流館 京都の共用部分の管理に関する

事業報告

1 概説

ひと・まち交流館京都は、市民の方々が自主的に行う、福祉、ボランティアをはじめとした公益的活動を支えるため、会議、情報交流等に活用できる大小の会議室を有し、開館以来、本年で22年目を迎え、多くの方々に利用されてきました。

京都市の指定管理者として託されている共用部分の管理運営では、会議室の貸出業務や設備の保守管理だけではなく、地域住民との連携等、本会の強みを活かし、京都市が求めている取組、運営を適切に行えるような体制づくりを行っています。

また、市民目線に立った公平公正なサービスの提供に努めており、来館者数は、少しずつではありますが、コロナ禍前に戻りつつあります。

一方、地球環境の変化に伴い、近年大規模な災害が多発していることから、本会としても、これまで実施してきた環境負荷低減の取組を一層促進するとともに、本施設が地域の避難所として、その役割をしっかりと果たせるように取り組んでいます。

本会では、平成12年7月から児童厚生施設として桂坂野鳥遊園を運営し、その管理運営についてはNPO法人和の学校に委託し、子ども達に豊かな自然環境を活かした体験講座等を実施するとともに、市民の方々に対して野鳥観察の機会を提供しています。

2 成果と課題

(1) 効果的、効率的な施設運営管理

施設の運営管理に当たっては、行政、関係団体、委託業者等との情報共有、連携強化により、コロナ禍以降の対応を含め、起こる課題等に迅速かつ的確に対応し、効果的、効率的な施設運営に努めてきています。

しかし、会議室の利用率については、令和2年度から続いたコロナ禍による利用団体の開催見送りや、令和4年6月からの一般会議室の有料化により、コロナ禍前に比べ、約15%低下し、その後、同様の利用率で推移しています。

そうした中、4センターを含む当館のホームページの更新し、同年6月からは、会議室利用者の利便性向上及び公平公正な市民サービスの提供を図るために、会議室予約システムを導入すると共に、関連する基準等の運用を開始しています。

一方、老朽化している施設、設備管理については、設備管理業者との緊密な情報共有等による故障取替部品の確保等を行い、効果的、効率的な維持管理に努めてきましたが、開館から20年が経ち、大規模な設備更新、特に空調設備の更新が必要であったことから、市所管課と情報共有し、市の予算確保への要望を行っていたところ、令和7年度に、設備更新工事を行うための委託設計費の予算化がなされました。今後も、長期的な視点での施設のあり様を検討していく必要があります。

(2) 災害時に備えた施設運営の検討

毎年のように、各地で自然災害が発生し、近年では、これまでに経験したことがない規模の災害が発生しており、更なる災害対策が求められています。特に、当館は、菊浜学区の避難所に指定され

ていることから、菊浜連合会と連携し、避難所運営のあり方について検討してきました。

また、当館は、京都市災害ボランティアセンターにも位置付けられていることから、活用形態について、時間軸を踏まえたより実践的なシミュレーションを行っていく必要があります。

(3) 環境負荷低減に向けた取組の推進

本会では、平成19年度に、京都市における環境負荷の管理・低減規格であるKESステップ1を認証取得して以来、平成24年度にはステップ2を認証取得し、令和3年度からは、本会の特色を活かした環境負荷低減の取組を行ってきました。

令和6年度からは、令和5年度のKES審査において、審査員から「京都市社会福祉協議会は、立派な社会貢献をされている。」との評を受け、環境宣言に掲げる環境改善目標を全て、各所属事業の実施成果としたことで、職員が環境への取組を我が事として捉えるようになり、環境負荷低減に対する意識がかなり高まっています。

今後も、情報共有に努め、更なる環境対策に取り組んでいきます。

3 事業内容

(1) 会議室等の貸出・管理

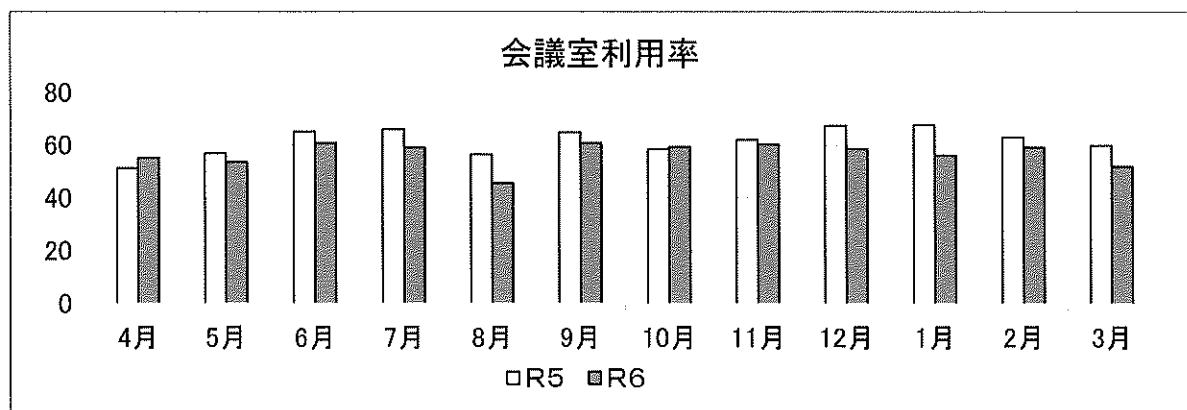
ア 会議室貸出予約抽選会の実施(12回)

イ 4センター設置条例に基づく会議室貸出及び相談の実施

ウ 利用実績

月	来館者数(人)			会議室利用率(大会議室除く、%)		
	R6	R5	増△減	R6	R5	増△減
4月	19,212	18,127	1,085	55.3	51.4	3.9
5月	18,816	19,931	△1,115	53.7	57.0	△3.3
6月	19,143	19,913	△770	60.9	65.2	△4.3
7月	19,336	21,038	△1,702	59.2	66.0	△6.8
8月	17,330	17,548	△218	48.6	56.5	△7.9
9月	18,713	19,059	△346	60.8	64.9	△4.1
10月	20,011	19,066	945	59.4	58.7	0.7
11月	19,508	18,580	928	60.4	62.1	△1.7
12月	16,842	16,404	438	58.7	67.4	△8.7
1月	15,385	16,994	△1,609	56.2	67.8	△11.6
2月	16,063	17,327	△1,264	59.3	63.1	△3.8
3月	18,576	19,775	△1,199	52.1	60.0	△7.9
合計・平均	218,935	223,762	△4,827	57.1	61.7	△4.6

■ひと・まち交流館京都会議室利用率（単位：％）



(2) 安心・安全・快適な利用の促進

- ア 施設設備の日常的・定期的点検及び修繕の実施
- イ 会議室予約システム開発
- ウ 業務委託業者との定期ミーティング(24回)及び研修(12回)の実施
- エ 案内モニターの更新(12回)
- オ 関係機関との連携

(3) 環境負荷軽減の取組の推進

- ア KESステップ2における持続可能な取組の実施
- イ 環境委員会(12回)及び環境マネジメント担当者会議の開催(12回)
- ウ 交流館内各センター・団体と連携した環境負荷低減の取組の実施(24回)
- エ 交流館内各センター・団体による周辺の一斉清掃の実施(12回)

(4) 防災・防火活動の推進

- ア 交流館全体での火災対策訓練の実施(2回)

(5) 館内各センター・団体との連携・促進

- ア 共同管理委員会の開催(12回)
- イ 交流館内各センター・団体との連絡調整

(6) 地域との連携促進(菊浜学区)

- ・ 防犯パトロールへの参加
- ・ 避難所設置時の協議
- ・ 防災訓練への参加

資金収支計算書

(自) 令和 6年 4月 1日 (至) 令和 7年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算	決算	差異
事業活動による収入支	収入			
	0296 受託金収入	160,291,000	160,291,000	
	8041 市受託金収入	160,291,000	160,291,000	
	事業活動収入計(1)	160,291,000	160,291,000	
	0129 人件費支出	33,074,000	28,180,291	4,893,709
	7112 職員給料支出	21,994,000	19,027,049	2,966,951
	7113 職員賞与支出	4,380,000	3,183,487	1,196,513
	7115 派遣職員費支出	2,400,000	2,327,562	72,438
	7117 法定福利費支出	4,300,000	3,642,193	657,807
	0130 事業費支出	120,635,000	108,250,094	12,384,906
	7215 光熱水費支出	13,100,000	11,919,266	1,180,734
	7218 修繕費支出	3,850,000	1,556,610	2,293,390
	7219 通信運搬費支出	2,197,000	2,193,692	3,308
	7223 業務委託費支出	101,417,000	92,523,706	8,893,294
	7225 保険料支出	71,000	56,820	14,180
	0131 事務費支出	12,607,000	11,891,561	715,439
	7311 福利厚生費支出	250,000	248,991	1,009
	7313 旅費交通費支出	10,000	1,320	8,680
	7314 研修研究費支出	146,000	136,400	9,600
	7315 事務消耗品費支出	1,484,000	1,314,739	169,261
	7316 印刷製本費支出	470,000	173,778	296,222
	7319 修繕費支出	100,000		100,000
	7321 通信運搬費支出	16,000	12,606	3,394
	7324 業務委託費支出	6,969,000	6,966,988	2,012
	7327 賃借料支出	1,381,000	1,379,039	1,961
	7328 租税公課支出	1,781,000	1,657,700	123,300
	事業活動支出計(2)	166,316,000	148,321,946	17,994,054
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-6,025,000	11,969,054	-17,994,054
施設整備等による収入支	収入			
	施設整備等収入計(4)			
	支出			
	施設整備等支出計(5)			
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)			
その他の活動による収入支	収入			
	0214 積立資産取崩収入	6,525,000		6,525,000
	8911 備品等更新積立資産取崩収入	2,000,000		2,000,000
	8912 修繕積立資産取崩収入	4,525,000		4,525,000
	その他の活動収入計(7)	6,525,000		6,525,000
	0160 拠点区分間繰入金支出	500,000	11,960,280	-11,460,280
	7672 拠点区分間繰入金支出	500,000	11,960,280	-11,460,280
	その他の活動支出計(8)	500,000	11,960,280	-11,460,280
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	6,025,000	-11,960,280	17,985,280
予備費支出(10)				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			8,774	-8,774
前期末支払資金残高(12)		11,367,000	11,367,515	-515

資 金 収 支 計 算 書

(自) 令和 6年 4月 1日 (至) 令和 7年 3月31日

(単位:円)

勘 定 科 目	予 算	決 算	差 異
当期末支払資金残高(11)+(12)	11,367,000	11,376,289	-9,289